



【コンセプト】

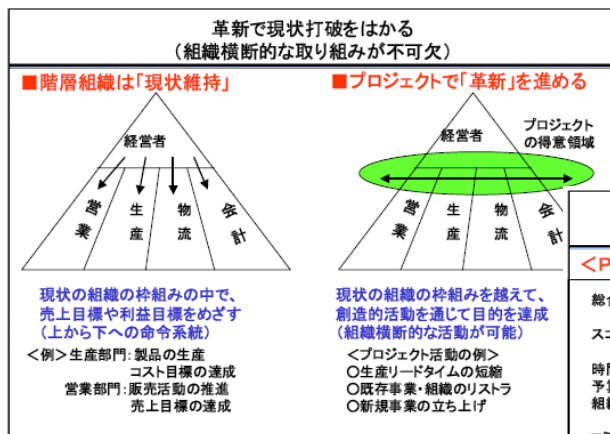
スピード経営の時代、既存組織の弱点を補うために、プロジェクト方式を導入することによって変化に対応するケースが増えています。企画・立案から実行計画の策定、スケジュール管理まで、今や「世界標準」となったプロジェクトの遂行手順を、詳しく解説していくシリーズです。(講義時間 合計6時間)

【参考図書】

『よくわかるプロジェクトマネジメント』
日本実業出版社
西村 克己【著】



【講義資料より】



公的規格 (ISO10006、PMBOK) との関係

<PMBOKの範囲>	<ISO10006の範囲>	<今回の範囲>
総合マネジメント	戦略決定	テーマ設定
スコープ	相互依存	推進手順
時間	時間	範囲/前提条件
予算	コスト	作業計画
組織	要員	時間/スケジュール
コミュニケーション	経営資源	予算/投資対効果
リスク	コミュニケーション	組織/要員/役割
品質	リスク	経営資源
	購買	コミュニケーション
	(品質はISO9000と併用)	推進上の留意点
		リスクマネジメント
		調達/実施
		QCDの視点の強化 Q(品質)+C(コスト)+D(納期)

(知識体系の提供) (プロセスの提供) (知識+プロセス+手法)
※PMBOK(ピンボック): The guide to the Project Management Body of Knowledge

【テーマ】

第1回 プロジェクトと経営への適用

(ゲスト)株式会社日本総合研究所人事部 子安弘邦氏

第2回 プロジェクト成功の基本条件

(ゲスト)株式会社日本総合研究所上席主任研究員 久道雅基氏

第3回 プロジェクトフェーズの概念

(ゲスト)株式会社日本実業出版社第一編集部チーフエディター 大西啓之氏

第4回 テーマ設定と解決策の立案

(ゲスト)富士写真フィルム株式会社 情報システム部 参事 野中治氏

第5回 プロジェクト実行計画の立案

(ゲスト)富士写真フィルム株式会社 感材部業務課主査 黒川透氏

第6回 実行と評価/企画書の体系

(ゲスト)富士マグネティクス株式会社 事業開発部部長 橋高弘武氏